

「施策の方向等」および「具体的な施策の展開」の協議方法について

1 協議方法

「施策の方向等」および「具体的な施策の展開」の協議につきましては、効率的かつ効果的な方法として、前回の第2回会議と同様に、グループ分けによる協議を実施することといたしました。具体的な進め方については、以下のとおりといたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

2 グループ編成

グループ分けについては、各委員の関係分野や、そのグループが担当する施策等の内容を考慮し、2ページの名簿のとおりといたします。

3 協議の流れ

所要時間等	協議事項等	備考
資料説明(5分)	事務局より資料説明	
質問(5分)	資料説明に対する質問	
グループ協議(50分)	<p>○進め方</p> <p>①各資料の記載内容について、意見があれば委員ごとに発言 ②記載内容の意見が出そろい、時間があれば意見交換 →(グループ協議終了後)意見まとめ</p> <p>○協議事項</p> <p>【A・Bグループ共通】(資料1) 施策の方向等</p> <p>【Aグループ】(資料2-1 pp.1~22, 48~53 計28ページ) 施策の方向3 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備(pp.1~11) 施策の方向4 子育てを支援する生活環境の整備(pp.12~16) 施策の方向5 仕事と生活の調和の実現(pp.17~22) 施策の方向9 若者の自立支援(pp.48~53)</p> <p>【Bグループ】(資料2-1 pp.23~47 計25ページ) 施策の方向6 特別な支援を必要とする子どもや家庭への支援(pp.23~33) 施策の方向7 ひとり親家庭の自立支援(pp.34~39) 施策の方向8 子どもの貧困対策(pp.40~47)</p>	<p>【進行】 会長・副会長</p> <p>【書記】 子ども企画課 職員 (工藤, 谷藤)</p>
意見まとめ(15分)		
グループ意見発表(各グループ7~8分)		【発表者】 会長・副会長

計90分

【グループ編成】

区分	氏名	所属団体等	グループ
保護者	山崎 夕記子	函館市PTA連合会	B
事業主を代表する者	西村 由紀	函館商工会議所	A
労働者を代表する者	高橋 勇二	連合北海道函館地区連合会	A
こども施策に関する事業に従事する者	天野 洋子	函館保育協会	A
	数又 紀和子	函館市民生児童委員連合会	B
	川村 おさむ	函館市私立幼稚園協会	A
	木村 一雄	函館市社会福祉協議会	B
	高野 弘美	函館市ファミリー・サポート・センター	B
	玉利 達人 ○	道南地区私立幼稚園連合会	B
	野口 達史	函館市小学校長会	A
	畑 美枝子	函館市町会連合会	A
	浜 和寛	北海道函館児童相談所	B
	山口 哲也	函館市中学校長会	A
	吉増 圭子	函館市学童保育連絡協議会	B
こども施策に関し学識経験のある者	池田 延己 ◎	函館大妻高等学校	A
	石坂 仁	函館市医師会	B
	川村 幾代	函館短期大学	B
	本田 泰代	函館大学	A
公募による者	館山 周平		A
	成田 奈津子		B
計	20人		

◎会長 ○副会長

4 所属しないグループが担当する施策等の内容に関する意見等

自分が所属しないグループが担当する施策等の内容に関する意見等がございましたら、11月1日（金）までに事務局までご連絡ください。